

令和7年7月4日

方県小学校保護者の皆様

岐阜市立方県小学校

校長 田中 久美子

登下校時の落雷に係る対応について(お願い)

日頃は本校の教育活動にご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

先週から、雷雨になる予報が何日もあり、日中にスマート連絡帳にて、引き渡し等の可能性があることをお伝えし、大変ご心配をおかけしました。

今後の登下校時の雷等への対応を下記の通りといたしますので、ご理解・ご協力を引き続きお願いします。なお、実施する中で課題等がありましたら、修正していきたいと考えておりますので、ご承知願います。

記

1 落雷発生の予兆

- ① 雷の音が聞こえる
- ② 真っ黒な雲に覆われる
- ③ 冷たい風が吹く
- ④ 急に強い雨が降り出す 等

2 登校時に上記「落雷発生の予兆」があると判断された場合

- ・原則として、各家庭でご判断いただき、自宅で待機する。
- ・自宅待機により登校が遅れた場合は、「スマート連絡帳」に、「雷のため自宅待機中」と、ご記入いただくことにより、学校への連絡としていただく。
- ・児童の安全が最優先ですので、登校が遅れても構いません。(遅刻扱いにはなりません。)
- ・学校からの「スマート連絡帳」において、対応に係る連絡をさせていただくことがありますので、適宜ご確認ください。

3 下校時に上記「落雷発生の予兆」があると判断した場合

- ・下校の判断としては、上記の予兆とともに、気象庁「雷ナウキャスト」と雷注意報を参考にしながら対応します。「雷ナウキャスト」で方県小学校または、周辺で「2のエリア」や「落雷があった」場合は、下校を見合わせ、安全確保の観点から、校舎内等での待機や引き渡しのとなる可能性があります。
- ・待機や引き渡し等の対応については、学校から「スマート連絡帳」で連絡をします。

4 引き渡し等の対応について

- ・落雷の危険性がある場合、徒歩による帰宅は保護者の方と一緒にあっても危険性があるため、原則として車によるお迎えをお願いすることになります。
- ・「スマート連絡帳による引き渡しの連絡」があるまでは、ご自宅で待機願います。なお、事情によりお迎えができない場合やお迎えが遅くなる場合は、学校までご連絡をお願いします。
- ・スマート連絡帳の緊急連絡に関しては、お仕事中的場合が多いと思いますが、ご家族のどなたかが確認できるように工夫していただきますようお願いいたします。登録は複数名できます。

5 お車によるお迎え方法について

- ・教職員が誘導・指示できない場合のほうが多いと思われます。事故等にはご注意ください。
- ・引き渡し訓練の時のように、体育館にて、お子様をお迎えください。

6 保護者の皆様への連絡について

- ・スマート連絡帳にアクセスが集中することにより、開けない等の場合には、方県小学校のホームページにも同様の情報を掲載しますので、そちらでもご確認ください。
- ・有事の際、回線等が使えない場合が考えられます。学級の保護者同士でご連絡をしていただけるとありがたいです。
- ・どうしても迎えに来られない場合は、近所の保護者の方にお問い合わせされることもあると思います。その際は、児童本人が確認できれば、引き渡していくことを考えています。保護者同士でご確認ください。

7 その他

- ・雷の活動は、鳴りが止んでから20分程度は落雷の危険がある（気象庁ホームページより）ことから、その間は安全な場所で待機するようにします。
- ・児童への指導として、下校途中や帰宅後に公園等で遊んでいる場合も含めて落雷発生の予兆がある場合、具体的な方法として、学校へ避難する、速やかに帰宅する、近くの子ども110番の家等に避難することなど、雷から命を守るための対応について自分で判断できるようにしていきたいと考えています。しかし、登下校時の様々な状況がありますので、ご家庭でも、具体的な場面を想定しながら、命を守る方法について、確認していただきますようお願いいたします。

【参考】雷から身を守る方法〔気象庁ホームページより〕

- ① 落雷が聞こえたり、雷光が見えたりした場合は、速やかに屋内に避難する。
（雷鳴が遠くても、雷雲はすぐに近づいてくる。また、雨が降っていなくても落雷はある。）
- ② 校庭やプールでの活動、平地でのハイキング等、近くに高いものがない場所での活動の場合は特に注意し、速やかに活動を中止し、屋内に避難する。
- ③ 雷の活動は短時間でおさまることが多いので、無理に登下校、帰宅等せず、屋内に避難・待機する。
- ④ 自転車に乗っていたら、すぐに降りて安全な場所に移動する。
- ⑤ 避難場所について
 - ・建物の中、自動車、バス、列車の中等への素早い避難が求められる。
 - ・軒先や外壁は、雷の通り道になること等に注意する。
 - ・雷は高い場所に落ちやすい。立ち木に落ちると被害を受けるので、立ち木から離れたところに避難する。
 - ・近くに避難する場所がない場合は、しゃがみこむ等でできるだけ姿勢を低くする。
- ⑥ 安全な空間に避難できない場合の対応
 - ・近くに安全な空間がない場合は、電柱、煙突、鉄塔、建築物などの高い物体のてっぺんを45度以上の角度で見上げる範囲で、その物体から4m以上離れたところは保護範囲に避難する。高い木の近くは危険なため、最低でも木のすべての幹、枝、葉から2m以上は離れること。
 - ・姿勢を低くして、持ち物は体より高く突き出さないようにする。
 - ・雷の活動が止み、20分以上経過してから安全な空間に移動する。